

播州真宗門徒 本徳寺世話役

追弔法要案内

九月六日午後一時
執行於本堂



追弔法要のための内陣荘厳



追弔法要に遇う

この法要は、五百年にわたって受け継がれてきた播州門徒の念仏の心と、本徳寺を大切に守り続けたという思いを表すもので、『仏説阿弥陀経（ぶつせつあみだきょう）』を誦読してお勤めいたします。

お経の中で、お釈迦さまが弟子の舍利弗（しゃりほつ）に語られた教えを、私たち自身の問題として正面から受け止めましょう。それによって、自分の「いのち」の本当の姿が明らかになるとともに、迷い（無明）から浄土のさとりへと至る、大きないのちの流れに気づかせていただけます。



読経の間は、先に往かれた方々のご遺徳をしのびながら、ともに合掌・礼拝し、感謝の気持ちを込めてお焼香をいたしましょう。

このご法要をご縁として、「死を通して、いのちはどうなるのか」という誰もが避けて通れない大切な問題について、仏さまの教えに耳を傾けていきます。迷いの多いこの世では、私たちはつい、自分自身の責任を先祖の責任にすり替えてしまいうという、大きな過ちを犯しがちです。

先祖のご供養をご縁として、今を生きる私自身が、先祖とともに阿弥陀仏の大きな慈しみと悲しみに手を合わせる——これが、浄土真宗における正しい先祖への向き合い方です。このことを、ともに学ばせていただきます。